

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月13日
【四半期会計期間】	第43期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	株式会社朝日ラバー
【英訳名】	ASAHI RUBBER INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 横山 林吉
【本店の所在の場所】	埼玉県さいたま市大宮区土手町2丁目7番2
【電話番号】	048(650)6051(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理担当 中沢 章二
【最寄りの連絡場所】	埼玉県さいたま市大宮区土手町2丁目7番2
【電話番号】	048(650)6051(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理担当 中沢 章二
【縦覧に供する場所】	株式会社朝日ラバー 福島工場 (福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字坊頭窪1番地) 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第42期 第2四半期連結 累計期間	第43期 第2四半期連結 累計期間	第42期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	2,374,114	2,407,095	5,010,719
経常利益(千円)	38,114	64,389	211,502
四半期(当期)純利益(千円)	14,933	40,465	72,854
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	23,374	43,026	73,687
純資産額(千円)	2,824,515	2,881,128	2,861,044
総資産額(千円)	7,348,379	7,408,926	7,758,935
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	3.28	8.90	16.01
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	38.4	38.9	36.9
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	344,751	87,435	766,592
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	222,571	245,814	526,894
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	331,345	178,992	305,259
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	938,359	744,468	1,073,321

回次	第42期 第2四半期連結 会計期間	第43期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 () (円)	1.16	5.77

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における、わが国経済は、東日本大震災からの復興需要により回復の兆しがありましたが、中国など新興国市場の成長鈍化、欧州の債務危機問題及び円高の長期化などの要因により、先行き不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループは、事業領域として自動車・情報通信・医療介護の各分野への経営資源の集中を図り、お客様の視点に立ったものづくりを進めるとともに、独自の開発製品の販売拡大に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は24億7百万円（前年同四半期比1.4%増）となり、利益面では、連結営業利益は、8千8百万円（前年同四半期比50.1%増）、連結経常利益は6千4百万円（前年同四半期比68.9%増）、連結四半期純利益は4千万円（前年同四半期比171.0%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

工業用ゴム事業

工業用ゴム事業では、スポーツ用ゴム製品の売上が低迷しているものの、主にASA COLOR LEDを始めとした自動車関連製品の受注が、米国市場向けを中心に、堅調に推移いたしました。

この結果、工業用ゴム事業の連結売上高は18億7千3百万円（前年同四半期比5.6%増）となりました。またセグメント利益は1億4千3百万円（前年同四半期比114.0%増）となりました。

医療・衛生用ゴム事業

医療・衛生用ゴム事業では、新規開発製品の受注は堅調に推移したものの、顧客の在庫調整による影響で一部の医療用ゴム製品の受注減が続いております。

この結果、医療・衛生用ゴム事業の連結売上高は5億3千3百万円（前年同四半期比11.1%減）となりました。またセグメント利益は6千3百万円（前年同四半期比40.1%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べて1億9千3百万円減少の7億4千4百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは8千7百万円の収入（前年同四半期は3億4千4百万円の収入）となりました。

これは主に法人税等の支払額1億2千9百万円（前年同四半期は2千万円）、仕入債務の減少額4千2百万円（前年同四半期は8千2百万円の減少）があったものの、減価償却費1億7千2百万円（前年同四半期は1億7千6百万円）、売上債権の減少額7千3百万円（前年同四半期は1億1千9百万円の減少）等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億4千5百万円の支出（前年同四半期は2億2千2百万円の支出）となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出2億4千9百万円（前年同四半期は9千8百万円の支出）等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1億7千8百万円の支出(前年同四半期は3億3千1百万円の支出)となりました。

これは主に、長期借入れによる収入4億円(前年同四半期は3億円の収入)があったものの、長期借入金の返済による支出5億3千8百万円(前年同四半期は4億4千8百万円の支出)によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発活動の金額は、4千6百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動について重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	11,500,000
計	11,500,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	4,618,520	4,618,520	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数500株
計	4,618,520	4,618,520	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	4,618	-	516,870	-	457,970

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
伊藤 潤	埼玉県さいたま市緑区	942	20.4
伊藤 巖	埼玉県さいたま市緑区	222	4.8
朝日ラバー従業員持株会	埼玉県さいたま市大宮区土手町2丁目7-2	179	3.9
朝日ラバー共栄持株会	埼玉県さいたま市大宮区土手町2丁目7-2	165	3.6
株式会社南日本銀行	鹿児島県鹿児島市山下町1-1	162	3.5
室井 利子	埼玉県新座市	151	3.3
株式会社武蔵野銀行	埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目10-8	113	2.4
横山 林吉	埼玉県さいたま市緑区	103	2.2
株式会社東邦銀行	福島県福島市大町3丁目25	97	2.1
株式会社西京銀行	山口県周南市平和通1-10-2	84	1.8
計	-	2,221	48.1

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 70,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,479,500	8,959	-
単元未満株式	普通株式 69,020	-	-
発行済株式総数	4,618,520	-	-
総株主の議決権	-	8,959	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が300株含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の合 計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
株式会社 朝日ラバー	埼玉県さいたま市大宮区土手町2丁目7-2	70,000	-	70,000	1.52
計	-	70,000	-	70,000	1.52

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,259,208	1,921,740
受取手形及び売掛金	1,169,530	1,095,697
商品及び製品	139,753	147,496
仕掛品	169,505	183,897
原材料及び貯蔵品	74,037	79,625
その他	96,786	116,619
貸倒引当金	1,283	1,209
流動資産合計	3,907,537	3,543,867
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,259,027	1,220,336
機械装置及び運搬具(純額)	864,564	894,933
土地	900,782	900,782
その他(純額)	125,528	166,368
有形固定資産合計	3,149,903	3,182,420
無形固定資産	5,537	5,298
投資その他の資産		
その他	687,474	671,712
貸倒引当金	3,422	3,422
投資その他の資産合計	684,052	668,290
固定資産合計	3,839,492	3,856,009
繰延資産	11,904	9,049
資産合計	7,758,935	7,408,926
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	841,355	795,772
短期借入金	33,332	19,806
1年内返済予定の長期借入金	1,039,014	1,063,902
未払法人税等	133,111	17,767
その他	391,630	311,308
流動負債合計	2,438,442	2,208,557
固定負債		
長期借入金	1,843,223	1,679,778
退職給付引当金	404,744	425,095
役員退職慰労引当金	197,722	203,391
その他	13,758	10,976
固定負債合計	2,459,448	2,319,241
負債合計	4,897,890	4,527,798

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	516,870	516,870
資本剰余金	457,970	457,970
利益剰余金	1,958,003	1,975,724
自己株式	45,335	45,534
株主資本合計	2,887,507	2,905,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,681	11,674
為替換算調整勘定	49,144	35,575
その他の包括利益累計額合計	26,462	23,901
純資産合計	2,861,044	2,881,128
負債純資産合計	7,758,935	7,408,926

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	2,374,114	2,407,095
売上原価	1,761,681	1,765,623
売上総利益	612,433	641,471
販売費及び一般管理費	553,574	553,142
営業利益	58,859	88,329
営業外収益		
受取利息	1,372	940
受取配当金	2,008	1,884
受取手数料	1,686	2,055
雑収入	18,152	1,853
営業外収益合計	23,220	6,734
営業外費用		
支払利息	17,769	14,970
為替差損	16,741	10,380
雑支出	9,454	5,323
営業外費用合計	43,965	30,674
経常利益	38,114	64,389
特別利益		
固定資産売却益	188	257
受取保険金	80,238	-
特別利益合計	80,427	257
特別損失		
固定資産売却損	37	21
固定資産除却損	24,387	2,111
投資有価証券評価損	7,388	7,428
災害による損失	33,084	-
特別損失合計	64,897	9,562
税金等調整前四半期純利益	53,644	55,084
法人税等	38,710	14,619
少数株主損益調整前四半期純利益	14,933	40,465
四半期純利益	14,933	40,465

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,933	40,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,872	11,007
為替換算調整勘定	14,313	13,568
その他の包括利益合計	8,440	2,560
四半期包括利益	23,374	43,026
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,374	43,026

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	53,644	55,084
減価償却費	176,461	172,426
貸倒引当金の増減額(は減少)	149	77
退職給付引当金の増減額(は減少)	17,902	20,350
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,343	5,669
受取利息及び受取配当金	3,381	2,825
支払利息	17,769	14,970
為替差損益(は益)	3,856	393
有形固定資産売却損益(は益)	151	235
有形固定資産除却損	24,387	2,111
投資有価証券評価損益(は益)	7,388	7,428
受取保険金	80,238	-
災害損失	33,084	-
売上債権の増減額(は増加)	119,363	73,551
たな卸資産の増減額(は増加)	4,730	27,304
仕入債務の増減額(は減少)	82,370	42,675
未払消費税等の増減額(は減少)	19,535	24,726
その他	16,902	24,814
小計	324,618	228,540
利息及び配当金の受取額	3,711	2,631
利息の支払額	17,486	14,940
保険金の受取額	80,238	-
災害損失の支払額	58,150	-
法人税等の還付額	31,888	525
法人税等の支払額	20,068	129,321
営業活動によるキャッシュ・フロー	344,751	87,435
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	1,006,131	1,175,000
定期預金の払戻による収入	886,000	1,184,197
有形固定資産の取得による支出	98,232	249,712
投資有価証券の取得による支出	2,346	1,811
その他	1,861	3,487
投資活動によるキャッシュ・フロー	222,571	245,814
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	164,000	13,239
長期借入れによる収入	300,000	400,000
長期借入金の返済による支出	448,764	538,685
配当金の支払額	13,527	22,431
自己株式の取得による支出	135	198
その他	4,917	4,438
財務活動によるキャッシュ・フロー	331,345	178,992
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,998	8,518
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	204,167	328,852
現金及び現金同等物の期首残高	1,142,526	1,073,321
現金及び現金同等物の四半期末残高	938,359	744,468

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	22,768千円	22,997千円
支払手形(設備関係支払手形を含む)	162,453千円	163,334千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給与手当	160,217千円	164,801千円
退職給付費用	8,727千円	13,194千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	1,877,223千円	1,921,740千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	938,864千円	1,177,272千円
現金及び現金同等物	938,359千円	744,468千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	13,649	3	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計
期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月14日 取締役会	普通株式	13,648	3	平成23年9月30日	平成23年12月9日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	22,744	5	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計
期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月13日 取締役会	普通株式	13,644	3	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	工業用ゴム 事業(千円)	医療・衛生用ゴム 事業(千円)	合計(千円)
売上高			
外部顧客への売上高	1,774,147	599,967	2,374,114
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	1,774,147	599,967	2,374,114
セグメント利益	67,178	106,525	173,703

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	173,703
全社費用(注)	114,844
四半期連結損益計算書の営業利益	58,859

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	工業用ゴム 事業(千円)	医療・衛生用ゴム 事業(千円)	合計(千円)
売上高			
外部顧客への売上高	1,873,990	533,105	2,407,095
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	1,873,990	533,105	2,407,095
セグメント利益	143,787	63,764	207,552

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	207,552
全社費用(注)	119,222
四半期連結損益計算書の営業利益	88,329

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	3円28銭	8円90銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	14,933	40,465
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	14,933	40,465
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,549	4,548

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成24年11月13日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....13百万円

(ロ) 1株当たりの金額.....3円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成24年12月10日

(注) 平成24年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月13日

株式会社朝日ラバー
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 米村 仁志 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 藤原 選 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社朝日ラバーの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社朝日ラバー及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 . 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 . 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。